

令和元年度 後期第2回 全領域合同研究交流会

11月12日(火)13:30～ 場所:学際科学フロンティア研究所 大セミナー室

● ポスター発表:

『四肢動物の指骨格と魚類の鰭条の間に存在するパターン形成機構の共通性』
The common patterning mechanism between limbs in tetrapods and fin rays in fishes
- 田中 祥貴 修士研究教育院生 (生命科学研究所 / 生命・環境領域)

『データ同化を用いた宇宙機の熱解析』
Data Assimilation Assisted Thermal Analysis for Spacecraft
- 田中 寛人 修士研究教育院生 (工学研究所 / 情報・システム領域)

『地球の高層大気において金属が起こす化学反応の研究』
Chemical reactions of metal atoms and ions in the Earth's upper atmosphere
- 伊藤 悠吏 修士研究教育院生 (理学研究所 / 先端基礎科学領域)

『強ネットワーク構造を利用した有機半導体材料の開発』
Organic Semiconducting Materials Using Tight Network Structure
- 川崎 渉 修士研究教育院生 (工学研究所 / 物質・材料エネルギー領域)

『量子ウォークを利用したグラフの判別』
Recognition of graphs by quantum walks
- 吉野 聖人 修士研究教育院生 (情報科学研究科 / 情報・システム領域)

『動物の運動制御から考えるチームワークの設計論』
Teamwork Design Methodology Inspired by Animal Motor Control
- 鈴木 朱羅 修士研究教育院生 (工学研究所 / 情報・システム領域)

『アオモイトンボにおける雌特異的な色彩多型の遺伝的基盤』
Genetic basis of female-limited color polymorphism in *Ichnura senegalensis*
- 高橋 迪彦 修士研究教育院生 (生命科学研究所 / 生命・環境領域)

『里山文化と材料工学の協奏によるローカルカーボン循環システム』
Local carbon cycle system by fusion of "Satoyama" culture and materials engineering
- 中安 祐太 (学際科学フロンティア研究所 助教 / 人間・社会領域)

『「太っている」という認識を不適切に生み出す神経基盤の解明』
Neural basis causing the inappropriate recognition that "I'm over weight!"
- 濱本 裕美 修士研究教育院生 (医学系研究所 / 人間・社会領域)

『生命情報科学を利用した分子標的タンパク質創出プロセスの開発』
Bioinformatics assistance for antibody mimic design
- 伊藤 智之 修士研究教育院生 (工学研究所 / 生命・環境領域)

『可換アソシエーションスキームと人工ニューラルネットワーク』
Association schemes and artificial neural networks
- 伊藤 桂司 修士研究教育院生 (情報科学研究科 / 情報・システム領域)

『磁気トンネル接合素子の新しい書き込み方式』
A new writing scheme for magnetic tunnel junctions
- Chaoliang Zhang (学際科学フロンティア研究所 / デバイス・テクノロジー領域)

『伝播現象におけるカスケード転移』
Emergence of event cascades in spreading processes
- 翁長 朝功 (学際科学フロンティア研究所 / 人間・社会領域)

● □ 頭発表:

融合領域の創成には、複眼的・多角的な視点が不可欠です。この視点を養うために「全領域合同研究交流会」では、若手研究者と大学院生が自身の研究をわかりやすく紹介し、自然科学・人文社会科学の境を越えた議論を行っています。参加者が各々の研究を見つめ直し、深め、広げる機会でもあります。

本交流会は、学際高等研究教育院の研究教育院生が中心となって運営しています。学際科学フロンティア研究所・学際高等研究教育院に所属する方はもちろん、東北大学のすべての研究者・大学院生・学部学生の参加を歓迎します。是非お気軽にご参加ください。
学際高等研究教育院生一同

多様化・精密化する現代で私たちが直面する多くの問題には、様々な要因が複雑に絡み合っています。学際体系の枠組みにこだわらず、異なる研究分野同士が手を取り合って新たな学際領域を切り開き、種々の課題に立ち向かうことが必要です。特に学際科学フロンティア研究所の若手研究者と学際高等研究教育院の研究教育院生は、先陣を切って分野横断的な融合領域研究を推進することが求められます。

【次回予告】

令和元年度 後期第3回 12月12日(木) 13:30～
詳細は決まり次第ホームページでお知らせします。
http://www.fris.tohoku.ac.jp/feature/whole_area_info/
お問合せ：学際高等研究教育院 総合戦略研究教育企画室
E-mail:senryaku@iare.tohoku.ac.jp

